



実需者から望まれる品質を目指そう! 安定生産に取り組もう!

香川県産の小麦「さぬきの夢2009」、はだか麦「イチバンボシ」は、2年連続の豊作や新型コロナウイルス感染症の影響等により、需要に対して供給が上回る状況となっています。

令和2年播きにおいては、「作付の維持」をお願いするとともに、「排水対策の徹底」や「適期播種」などの基本技術の励行で単収の確保と高品質化を目指しましょう。

令和2年産麦(令和元年播)の作柄状況と需給動向

令和2年産麦は、適切な栽培管理の実施に加え、播種期や収穫期が好天に恵まれ適期作業が行えたこともあり、2年連続の豊作となりました。1等比率は「さぬきの夢2009」で約80%、「イチバンボシ」で約77%と見込まれています。

(1) さぬきの夢2009

国産麺用小麦として高値で取引されています。豊作により、集荷数量が購入希望数量及び販売予定数量を上回る結果となりました。

(2) イチバンボシ

実需者からは品質の良さを評価されており、集荷数量が実需者からの購入希望数量を下回ったものの、豊作により、販売予定数量を上回る結果となりました。

令和2年産麦の購入希望数量と検査結果 (単位:ha、トン)

銘柄	販売予定数量 (出荷契約時)	購入希望 数量①	検査数量(推定)			集荷数量③ 購入希望数量①	1等比率
			面積②	集荷数量③	単収③/②		
さぬきの夢2009	6,147	5,839	2,038	8,050	395kg/10a	137.9%	約80%
イチバンボシ	2,092	3,597	710	2,530	356kg/10a	70.3%	約77%

※販売予定数量：生産者の出荷契約面積をもとに昨年7月にJAから実需者に提示した数量。この数量±15%の数量までは通常契約の数量となる(アローワンス)。

※購入希望数量：実需者からの購入希望を取りまとめ、昨年7月にJAに提示された数量。

令和3年産麦(令和2年播)の需給状況

令和3年産麦の需給については、2年連続の豊作や新型コロナウイルス感染症の影響等により需要に対して供給が上回る状況となっています。

このため、販売面では、取引先への取扱量の増加を要請するとともに、実需者に対し新規用途を推進することで、単年度では需給の改善が難しいですが、需給の適正化を目指します。また、生産面では、安定生産に必要な技術指導や機械導入等の各種支援を行います。

生産者の皆様におかれましては、令和2年播き麦の作付けは、現状維持を基本としつつ、今後も排水対策、適期播種、施肥、雑草防除等の「基本技術の励行」により、単収を確保し、外観・加工品質を向上させることで、畑作物の直接支払交付金（ゲタ）をはじめとする国・県の各種助成措置による収入を確保できるよう安定生産に努めましょう。

令和3年産麦の販売予定数量と購入希望数量（単位：トン）

銘柄	販売予定数量 (出荷契約時)①	購入希望 数量②	販売予定数量① 購入希望数量②	①-② 差引き
さぬきの夢 2009	6,630	3,706	178.9%	2,924
イチバンボン	2,281	1,473	154.9%	808

令和2年播麦のスローガン

**実需者から望まれる品質を目指そう！
安定生産に取り組もう！**

令和2年播き麦は面積維持で！（見込面積 小麦2,009ha、はだか麦736ha）



「儲かる」麦づくりのために

令和元年播き香川県麦作拡大コンクール受賞者の取組事例



- ・播種前の雑草防除の徹底、播種前の排水対策（ヨケ（額縁明きよ）や明きよの設置、弾丸暗きよの施工等、反転耕等）による早期乾田化を図り、適期播種に努めた。
- ・土壌pHに留意し、苦土石灰等の土壌改良資材を施用した。
- ・中期除草剤を適期に散布して雑草の抑制に努めるとともに、追肥体系により生育に応じた肥培管理を実施した。
- ・香川県農地機構を通じて農地を集積するとともに、地元の休耕地を借り受けることにより経営規模を拡大した。

平年単収：
小麦 **335kg/10a**
平年単収：
はだか麦 **304kg/10a**

**基本技術の
励行による
単収確保**

令和元年播き
香川県麦作拡大コンクール
入賞者の平均単収
小麦：**440kg/10a**
はだか麦：**371kg/10a**

**基本技術の励行で単収の確保・品質向上を目指しましょう！
～麦づくりは水稻収穫直後から始まります！～**

播種前の排水対策

水稻収穫後のコンバインのわだちや旋回跡をそのままにしておくと降雨時に水がたまり、土壌が乾きにくくなります。水稻収穫後は、速やかに排水溝（明きよ）をほ場の畦周りやほ場内に設置し、落水口と確実に連結し、雨水がほ場内に停滞しないようにしましょう。

特に排水が悪いほ場では、サブソイラー（弾丸暗きよ）などで、雨水の地下浸透を促すとともに、スタブルカルチや浅耕処理により土壌表層の乾燥を促進すると効果的です。



コンバイン旋回跡



弾丸暗きよと施工後の暗きよ



スタブルカルチの施工



ほ場の畦周りに額縁明きよ(排水溝)設置

苦土石灰やケイカルなどで土づくり

作付面積の拡大に伴い、土づくりが疎かになり、土壌pHの低下等の原因による麦の生育不良ほ場が増加しています。

播種前に苦土石灰などの土壌改良剤を施用して土づくりを行います。なお、土づくりのため、稲わらやもみ殻は焼却せずにすき込みましょう。

原因

- ① pH低下による酸性障害
- ② 微量元素欠乏(過剰)による生理障害

対策

- ① 苦土石灰の施用
- ② ケイカル等の土づくり肥料の施用



低pHによる生育不良

適期播種で収量と品質の向上

播種早限になり、土壌水分が適正になったらすぐに播種作業が開始できるよう、機械・播種機の点検などの準備を進めておきましょう。

適期に播種することにより収量は多く、品質は良くなり、播種が遅れるほど、収量は減少し、品質は低下します。

また、裸黒穂病等の種子伝染性病害の発生を防ぐため、毎年、種子更新を行うとともに、播種前には種子消毒を実施しましょう。

小麦、はだか麦ともに

播種早限 → **11月10日** 播種適期 → **11月15～25日**



裸黒穂病

小麦栽培における新しい施肥法と新しい基肥一発肥料

令和2年産小麦の栽培しおりから、新しい施肥法「**基肥減肥・追肥重点体系**」と新しい**基肥一発肥料「さぬきの夢一発」**が掲載されました。

①「基肥減肥・追肥重点体系」

従来の「基肥一追肥」体系よりも基肥の施用量を減らし、その減量相当分を1月上旬中旬の中間追肥に充てるとともに従来の2月下旬頃の追肥と合わせて「**基肥一中間追肥一追肥**」とする体系です。追肥の回数を2回に増やすことで、近年の暖冬傾向による生育期の肥料切れを防ぎ、穂数の確保や粒の充実向上による収量や品質の向上を目的とした施肥法です。

②新しい基肥一発肥料「さぬきの夢一発」

従来の基肥一発肥料より速効性窒素量を減らし、緩効性窒素量を増やしています。「**基肥減肥・追肥重点体系**」と同様に、生育期の肥料切れを防止し、穂数の確保や充実度の向上による収量や品質の向上を目的としています。

※①、②の具体的な施肥量や追肥時期などの詳細は「令和3年産小麦の栽培しおり」を参照してください。

播種後の排水対策

うね盛板やサイドリッチャー、管理機を用いて速やかにほ場の畦周りも含めて排水溝を設置しましょう。また、排水溝同士や排水溝と落水口が連結されていないため、ほ場内に水が溜まってしまっているほ場も見られます。苦労して設置した排水溝の効果を高めるため、排水溝同士や排水溝と落水口は確実に連結しましょう。



管理機による溝付け



排水溝と排水溝の連結



排水溝と落水口の連結



連結不足による滞水

初期除草剤で雑草を確実に抑える

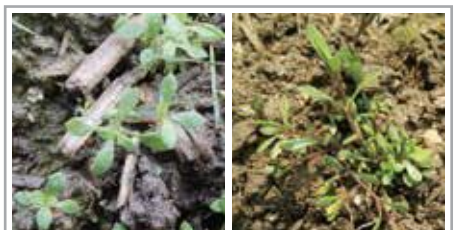
麦の播種後は、確実に初期除草剤を散布して、雑草の発生を防ぎましょう。初期除草剤の効果を高めるため、散布はかけムラのないようにていねいに行います。初期除草剤の散布後に大雨が降ったり、散布が遅れるなどの原因で雑草が発生した場合には、雑草の種類や葉齢をしっかりと確認し、適期に中期除草剤を散布しましょう。



スズメノテッポウ



スズメノカタビラ



ノミノフスマ



ヤエムグラ



カラスノエンドウ

令和3年産「おいでまい」 栽培者の募集について



「おいでまい」シンボルマーク

県オリジナル水稲品種「おいでまい」について、
一定の要件を満たす方を「おいでまい」栽培者として登録します!

「おいでまい」栽培者が守るべき主な事項

- (1) ライスグレーダーの篩目は、1.85mm以上を使用する。
- (2) 「おいでまい」の種子、苗が余った場合は適切に処分し、決して他者に譲渡しない。
自家採種もしない。
- (3) 販売を目的とした栽培とし、自家消費を目的とした栽培や未検査米での出荷はしない。
- (4) 収穫した「おいでまい」については、農産物検査と食味分析を受け、その結果を報告する。

■ 綾川町の栽培者及び作付拡大地域のJAカントリーエレベータ出荷者

- ・綾川町の栽培者及び作付拡大地域のJAカントリーエレベータ出荷者は自動的に「おいでまい」栽培者として登録しますので、特に手続きは必要ありません。
- ・種苗の購入実績等の情報は、「おいでまい」委員会が別途JAから収集しますのでご了承ください。
- ・上記の「おいでまい」栽培者が守るべき事項を遵守した上での栽培をお願いします。

■ 倉前出荷者

○令和2年産「おいでまい」栽培者として登録されている方

令和3年産も継続して「おいでまい」を栽培する場合は、栽培者が守るべき事項と登録要件を満たしていれば、改めて書類を提出していただく必要はありません。

○令和3年産から新しく「おいでまい」の栽培を希望する方（倉前出荷の方）

栽培者が守るべき事項と登録要件を満たしていることをよく確認した上で、下記のとおり**栽培誓約書**をご提出ください。

① 募集期間 令和2年**10月7日** **水** ~ 令和3年**1月29日** **金**

② 書類の入手方法

令和3年産「おいでまい」栽培実施要領、栽培者登録要領（「栽培誓約書」を含む。）等の必要書類は最寄りのJA香川県各地区営農センター及びふれあいセンターに準備しています。

（香川県ホームページ「さぬきの農産物応援団」、JA香川県ホームページからもダウンロード可）

③ 応募方法と栽培誓約書の提出先

令和3年産「おいでまい」栽培誓約書を作成し、最寄りのJA各地区営農センター又はふれあいセンターにご提出下さい。

倉前出荷者が令和3年産「おいでまい」栽培者として登録されるための主な要件

- (1) 乾燥機、籾摺り機、ライスグレーダー等の乾燥調製設備を装備していること。ただし、「おいでまい」栽培者に共同育苗及び乾燥、調整作業の他者への委託を行う場合はこの限りでない。
- (2) 令和2年産水稲の令和3年1月末までの農産物検査実績があること。ただし、令和2年産「おいでまい」栽培者は、令和3年1月末までの「おいでまい」の農産物検査実績があること。

詳しくは、JA窓口準備している「令和3年産『おいでまい』栽培者募集案内」をご覧ください。

★募集についてのお問い合わせ先★

●「おいでまい」委員会事務局

（香川県農政水産部農業生産流通課 農産グループ）…………… TEL : 087-832-3418

●JA香川県（本店）営農部農産販売課…………… TEL : 087-818-4109

これから始める水稲栽培 vol.3

水稲栽培の初心者の皆様へ、継続は「力」なりです。

今年の水稲作もほぼ終わりました。今年の失敗を来年作の糧に！来年作が楽しみです。

3回目は、本年作の失敗談です。



ジャンボタニシ



卵

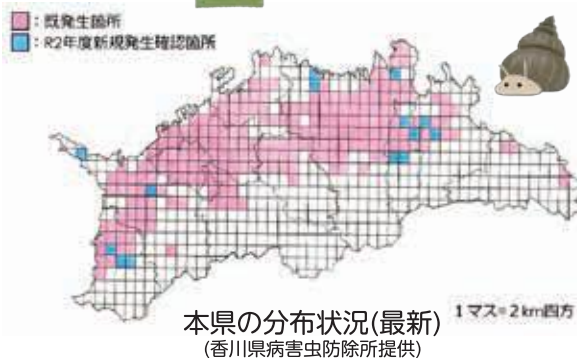


ジャンボタニシによる被害*
(我が家の被害(8/30撮影))



今年の水稲の栽培管理は、ほぼ終わりました。反省点ばかりですが、一番は「ジャンボタニシ」です。

つとむさん(55歳)



スクミリンゴガイ(俗称:ジャンボタニシ) 俗称の方が有名ですね!

- ① 南米原産で、日本へは食用として、1981年に台湾から初めて持ち込まれた。
- ② 体内に広東住血線虫などの寄生虫を宿していることがある。卵は神経毒を含む。
- ③ 香川県では、1985年(35年前)に水田等で初発生を確認。1987年に水稲への被害が初報告
- ④ 繁殖力が高く、雑食性(キャベツやジャガイモを好み、魚の死骸を食べることも…)
- ⑤ 越冬するが、寒さに弱い(-3℃の条件下では3日間で死滅)❄️これがポイント!

※ 今年、6月28日に田植えを行い、同じ日にジャンボタニシ用の農薬を散布、その後、田直しに何回か田んぼに入ったものの、植えた苗から苗が消える状態に…(汗)。そこで、もう一度、農薬散布しても、被害は止まらず、この状態に…(orz)。後から分かりましたが、今年は暖冬で越冬したタニシが多かったことが原因とのこと。来年作に向け、この対策に、今、燃えています。そこで、その対策は…↓

対策 農薬だけに頼らず、ちょっと工夫の人力対策で!

- ① 秋冬作がない場合、厳寒期(2/上・中頃)にトラクターで耕す
→越冬しているタニシを寒さにさらして、殺貝
- ② 水稲作で水口へのネット設置(2mm目合)⇒侵入防止(ただ、ネットにゴミがつまるなあ～)
- ③ 水稲田植え後の農薬散布⇒散布時期と量をきっちり守って!
- ④ 水稲田植え後の浅水管理⇒タニシの背中が見える程度の極浅水(代かきを均平に!)

第5回 「おいでまい」品質・食味コンクールの開催について



「おいでまい」栽培者の皆様が丹精込めて作り上げた「おいでまい」から、最高の「おいでまい」を選びます。

上位入賞者には表彰状とともに豪華賞品を贈呈します。また、ご出品いただいた方全員に、食味分析結果と参加賞をお送りしますので、奮ってご参加ください!

出品方法

募集期間内に**玄米2kgと出品申込書**をご提出ください。

募集期間：令和2年10月7日(水)～11月6日(金)

申込先：最寄りのJA各地区営農センター企画農産課、JAふれあいセンター

※募集チラシ、出品申込書、玄米提出用袋はJA窓口にて用意しています。

出品時の主な注意事項

- ・出品料は徴収しませんが、出品物は返却しません。
- ・出品は1生産者につき1点で、令和2年産「おいでまい」に限ります。
- ・玄米水分が12%以下と16%以上の出品物は正確な分析ができないため、審査対象外となります。



内容に関するお問い合わせ先

- 香川県農業協同組合中央会 総合対策部 総合対策課…………… TEL : 087-825-2503
- 香川県農業協同組合 営農部農産販売課…………… TEL : 087-818-4109
- 香川県 農政水産部 農業生産流通課…………… TEL : 087-832-3418
- 香川県農業再生協議会ホームページ…………… <https://www.kagawa-saiseikyo.jp/>